

平成 19 年 9 月 26 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、観光関連が堅調なもの、生産活動が一進一退で、個人消費も盛り上がりを欠くなど、全体では停滞感を強めている。

生産活動は、電子部品関連がやや弱含んでおり、飲食料品も伸び悩んでいる。個人消費関連は、百貨店売上げやスーパー売上げ、新車販売ともに盛り上がりを欠く。投資関連では、民間建築工事や住宅着工、公共工事がともに低調。その間、観光入り込み客数は前年を上回った。

【生産活動】 ... 一進一退

電子部品関連は、IC 生産がやや弱含んでおり、PDP（プラズマ・ディスプレイ・パネル）はまずまず。カラーLCD（液晶ディスプレイ）は国内外での受注競争激化により伸び悩んでいる。

8月の**生コン**生産は、6か月連続で前年を下回った。

8月の**紙パルプ**生産は、前年比 2.3% 増となった。

木材関係は、住宅建設向け需要が弱く、低調に推移している。

大島紬生産は、減反基調にある。

焼酎は、生産および出荷の増勢テンポこそ鈍化しているものの、引続き高水準で推移している。

かつお節生産は、原料となる輸入かつおの浜値が依然高値で推移し、生産は抑制基調。

【畜産関連】 ... 堅調

肉用牛（和牛）の枝肉相場は高値圏にあるものの、需要の伸び悩みから弱含んでいる。豚肉及びブロイラー相場は、堅調に推移している。また、鶏卵相場は供給増により持ち合いで推移している。

【消費関連】 ... 盛り上がりを欠く

7月の百貨店売上げは、台風による休業やクリアランスセール前倒しの反動により、前年比 6.7% 減と前年を下回った。7月のスーパー売上げは、3.0% 減と前年を下回った。8月の大型小売店販売は前年を僅かに上回った。

8月の乗用車新車販売台数は 7.2% 減と、19 か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は 15.0% 増、小型車が 16.3% 減となった。また、軽自動車も 3.0% 減と 6 か月連続の前年割れとなった。

【観光関連】 ... 堅調

8月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、前年比 8.5% 増と 3 か月連続で前年を上回った。地区別にみても、鹿児島、霧島、指宿の全地区で前年を上回った。一方、種子島・屋久島地区は、欠航の影響もあって引続き前年を僅かに下回ったが、減少幅は縮小した。この間の主要観光施設入場者数は、宿泊客の増加を反映して、前年を上回って推移した。

【投資関連】 ... 低調

8月の公共工事は、請負金額は前年並みを確保したものの、件数は前年を下回った。

7月の民間建築工事は棟数、床面積、工事費ともに前年を下回った。

7月の新設住宅着工戸数は、6月20日の建築基準法改正に伴い設計や審査に遅れが生じたこと等により、前年比半減となった。利用関係別では、持家、貸家、分譲がそれぞれ 25.5%、60.8%、76.4% の大幅減となった。

7月の主要**建設資材**卸売業者の売上げは、前年比3.6%減となった。

【貿易関連】...輸出が2か月連続前年割れ

7月の**輸出額**は、液晶表示板等の科学光学機器が前年を上回ったものの、半導体等電子部品やタイヤ・チューブが前年を下回ったことから、全体では9.2%減となった。一方、**輸入**は原油及び粗油や穀物及び同調整品が前年を上回ったことから、全体では4.7%増となった。

【雇用情勢】...改善テンポは緩やか

7月の有効求人倍率は0.64倍と前月比0.01ポイントの増加にとどまり、雇用情勢の改善テンポは緩やかなものとなっている。

【金融情勢】...堅調

資金需要は、住宅ローン、企業の設備資金ともに堅調に推移している。

【企業倒産】...件数、負債額ともに増加

8月の**企業倒産**は、件数は10件と前年同月(9件)を上回り、負債額は大型倒産の発生により62億800万円と前年同月(3億5,500万円)を大幅に上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)鹿兒島地域経済研究所 (099-225-7491)